

令和 6 年 10 月 31 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝
代表者氏名 桃木野 幸一 印

政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和 6 年 10 月 24 日～令和 6 年 10 月 26 日（2 泊 3 日）		
活動場所	山梨県（甲府市・山梨市・北杜市）、東京都（有楽町）		
目的	① 「全国過疎問題シンポジウム 2024in やまなし」へ参加し、全国の事例発表を考察し、本市への過疎対策に役立てるため。 ② 「ふるさと回帰センター」を訪問し、全国の移住の現状を調査し、本市への移住対策に役立てるため。		
使途項目	調査研究費	経路内訳と金額	様式 3、様式 5 のとおり
所見	（基調講演） 講師：天野 馨南子氏（ニッセイ基礎研究所） （パネルディスカッション） テーマ：地域で生きる～暮らしを紡ぐ強さと豊かさの共創 （分科会 1）山梨市 コーディネーター：野田 満 （近畿大学総合社会学部講師） 事例発表：4 団体 （分科会 2）北杜市 コーディネーター：関司 直也 （法政大学現代福祉学部教授） 事例発表：5 団体 それぞれの詳細は、別紙の報告書をご覧ください。		
参加者名	桃木野 幸一 和田 里志 湯元 秀誠 宇都 陽一郎		

行程表

会派名又は議員名（市政クラブ始輝）

月日	時刻	出発地等	到着地	交通手段等
10/24 (木)	6:30	始良市役所	鹿児島空港	自家用車
	7:40	鹿児島空港		JAL640便
	9:20		羽田	
	10:00	羽田第1ターミナル	浜松町	東京モノレール
	10:25	浜松町	新宿	JR山手線（外）
	11:00	新宿		JR特急
	12:25		甲府	あずさ17号
	13:00	開会式・全体会		
	18:00	交流会		
	21:00		ホテル	
10/25 (金)	8:00	ホテル		
	8:30	分科会		
	12:00	閉会		
	13:16	甲府		JR特急
	14:43		新宿	あずさ26号
	14:51	新宿	秋葉原	JR山手線（外）
	15:19	秋葉原	ホテル	
10/26 (土)	9:15	ホテル	秋葉原	
	9:38	秋葉原	有楽町	JR山手線（外）
	9:44	有楽町	ふるさと回帰センター	徒歩
	11:30	ふるさと回帰センター	有楽町	徒歩
	11:33	有楽町	浜松町	JR山手線（外）
	11:50	浜松町	羽田第1ターミナル	東京モノレール
	13:35	羽田		JAL649便
	15:20		鹿児島	
	16:00	鹿児島空港	始良市役所	自家用車

※ 行程表の起点と終点は、自宅の最寄り駅又は最寄りのバス停とする。

旅費計算書〔実績〕

会派名又は議員名（市政クラブ始輝）

内 訳	航空賃	240,800 円	ホテルパック（往復航空券＋2泊）×4人分
	鉄道賃	37,400 円	羽田－甲府（往復）×4人分
	バス賃等	円	
	車 賃	円	
	宿泊料	400 円	宿泊税（100 円×4人分）
	参加費	円	
	交通費		
	その他	880 円	振込手数料
合計額		279,480 円	

[illegible]

政務活動報告書

会 派 市政クラブ始輝

報告者 桃木野 幸一

下記のとおり報告します。

「期日」 令和 6 年 10 月 25 日（金）

「場所」 山梨市花かげホール

「テーマ」 過疎地域持続的発展優良事例発表等を事例にした地域の
活性化

「考察」 近畿大学総合社会学部講師をコーディネーターとして優良事例の発表があった。

・ NPO 法人南外さいかい市（秋田県大仙市）

スーパーの廃業を受け、スーパーを作った。地域のことは自分たちでということをやテーマにしている。現在は、移動販売も手がけているが、保健婦が同乗し高齢者の見守りや健康相談に応じている。

・ 高隈地区コミュニティ協議会（鹿児島県鹿屋市）

高隈の恵みを活かし人々が集う郷づくりをやテーマにしている。大学との連携でお結びコンテストの開催や買い物支援、田んぼを活かしたどろんこソフト大会、地域の魅力を詰め込んだ体験型地域文化観光ツアー等を実施して地域の魅力を引き出している。

・ 保育園留学推進協議会（北海道厚沢部町）

次の 100 年を創造する地域の家族と繋がりをつくる事をテーマとしている。保育園留学の受け入れ窓口をシステム化し、全国から保育園留学したい子育て家族を 1~3 週間受け入れ、ワーケーションを促進し、長期的な人口創出と地域の活性化を図っている。

・平川村定住推進協議会(岡山県高梁市)

地域ぐるみの定住・新規就農者の受け入れ体制確立する事をテーマにしている。地域の特産品であるぶどうやトマトを栽培し、定住・就農を希望する人と地域のマッチングを図っている。

各地域、どこも高齢化が進みながらも、今ある資源を最大限活かしながら地域の活性化に取り組んでいる様子が伺えた。正に地域のやる気にかかっていると思われるが、行政や関係先との調整などが重要であると感じた。

政 務 活 動 報 告 書

【会 派】市政クラブ始輝

【報告者】宇都 陽一郎

【日 時】2024年10月24～26日（2泊3日）

【場 所】山梨県（甲府市、山梨市、北杜市）

【内 容】「全国過疎問題シンポジウム2024 in やまなし」へ参加して

（基調講演）講師：天野 馨南子 ニッセイ基礎研究所

- ・人口減少が著しい日本では、全国各地で過疎地域が増えている。これからは「守りの過疎対策」から「攻めの過疎対策」へシフトチェンジすべき。
- ・人口が減れば、税収も減る。これまでのような使い方はできなくなり、少額で効率よく政策を立てる必要がある。
- ・男性は県外へ進学や就職しても戻ってくるケースが多いが、女性の場合は結婚して戻ってくる確率が男性よりも低い。
- ・「子育てしやすいまちづくり」はあたりまえのことであり、「子育てしやすいまちづくり」が人口増加に繋がる。
- ・地元で働きたい意思があっても奨学金の返済のために、高収入を求めて都会へ就職するケースも多い。
- ・家業の後継者問題は、息子ではなく娘の方がスムーズに進む。息子の場合は、継ぎたくなくて戻って来ないケースが増えている。家業を継いでくれる婿をとれば、家業も老後も安定する。
- ・離婚率が高いことも結婚願望の低下に繋がり、出生率にも影響している。

（分科会2）北杜市：優良事例発表

① 鹿児島県龍郷町 一般社団法人いも一れ秋名

～50年後も子どもたちが住みたいと思えるシマであり続けて欲しい～

- ・法人化し、副業として収入にも繋げている。
- ・地元の「ナカ」と島外から来てくれる「ソト」と結び付け、協働で集落を活性化させる。
- ・1階フロアは食堂にし、日替わりで地元の主婦がシェフとなり、地元の食材を使って料理する。また、郷土料理を作ったり、魚の捌き方教室をしたりと地元民と来島者の交流にも活用している。
- ・2階フロアは宿泊施設にし、インターンシップや企業研修など幅広く

受け入れ、交流人口の増大に繋げている。

- ・協力隊や体験宿泊に来られた方々に集落を気に入ってもらい定住してもらい取り組みも行っている。

② 高知県梶原町 集落活動センターゆすはら連絡協議会

～「できることから進める！」を合言葉に～

- ・元々6つの村が合併した経緯があり、その村をひとつの区とし、区毎に集落活動センターを設置し、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。
- ・廃業するガソリンスタンドを住民で運営し、そこで日用品や総菜を購入できるようにしている。
- ・ジビエ解体移動車を導入し、ジビエ料理に力を入れている。
- ・地域の食材で特産品を開発し、地域のブランド商品化している。
- ・6つの集落活動センターが切磋琢磨しあい、合同で特産品の販売や体験発表しあう「ゆすはらフェア」を毎年開催している。

【所 感】 2050年には日本の人口は1億人を切ると言われている。これからは日本全国中が過疎と言っても過言ではなくなる。これまでのような人口増加に努めようという考えは通用しない、それは単に自治体同士の人口の取り合いにしかならないからだ。これからは人口が減少してもこれまでのような生活ができる環境を維持することが重要となるようだ。また、廃校・廃業・廃屋をどう地域活性化に活用するかもUターンやIターンに繋がると思う。

いよいよ限界集落になるのを待つのではなく、自分たちがどのような集落にしたいのか、どのような日常生活を送りたいのか地域住民同士で話し合う機会をつくることも議会や行政の仕事と思う今回の研修視察となった。

復命書

(政務調査報告書)

市民クラブ 始揮 湯元秀誠 文責

調査事項：全国過疎問題シンポジウム 2024in やまなし

日時：2024 年 10 月 24 日（木）～25 日（金）

参加議員： 桃木野幸一・湯元秀誠・和田里志・宇都陽一

過疎地域は豊かな自然や農地・森林などを有し、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止などを通して、地域内のみならず、都市を含めた人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担っています。過疎地域のさまざまな取組について、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機とするため「全国過疎問題シンポジウム 2024in やまなし」を開催され参加致しました。

・第2分科会（北杜市）に参加しました。

過疎地域持続的発展優良事例発表会の報告

コーディネーター 図司 直也 氏（法政大学現代福祉学部 教授）

【事例発表団体】高知県梶原町 集落活動センターゆすはら連絡協議会

概要：合併前の村を「区」として残し、「区長」を中心として、それぞれの文化や特性を活かした住民自治活動を進めている。これまでの住民のつながりや取り組みから、「区」を基本とし、小さな拠点づくり6カ所を設置し問題課題に取り組んでいる。

活動内容

- ・まつばら集落活動センター・・・集村のガソリンスタンド廃業跡を集落で運営
- ・はつせ集落活動センター・・・韓国と交流しキムチの製造 岩盤浴の施設を開業
- ・四万十集落活動センター・・・集落でGSを新設し営業川を活用しシジミの生産
- ・おちめん集落活動センター・・・廃校跡を宿泊施設開業（サッカー合宿など）
- ・ゆすはらジビエの里・・・鳥獣害駆除対策からジビエ化工場設置 販売
- ・ゆすはら東集落活動センター・・・旧保育所跡地に日用品店舗を開設

【事例発表団体】山梨県北杜市^{ほくと} ユネスコエコパーク地域連絡会

概要： 経済活動と自然環境の保全の両立を目指す。市内の白洲・武川エリアがひとつにまとまり地域密着型の活動を10年にわたり展開

2014年に6月に南アルプスがユネスコによってエコパークに登録されたこと。これを地域活性化の好機ととらえ連絡会を創設した。中山を新規観光資源として開発、こども達、地域への認識を高める登山、自然学習、動自然工法による登山道路整備などの活動を通して、住民や企業等の理解や協力が得られてきた。

活動内容

- ・日向山や甲斐駒ヶ岳の登山道を自然工法で整備
- ・小中学生を対象に南アルプスエリア内の川にて水生生物調査を実施
- ・中山や精進の滝などでハイキング、地層の学習
- ・白砂山自元寺で精進料理や坐禅、写仏など実施

【事例発表団体】鹿児島県竜郷町 一般社団法人 E'more 秋名

概要：「50年後も子供たちが住みたいと思えるシマ（集落）であり続けてほしい」というコンセプトのもと、荒波地区に人の流れを生み出し、先人が守ってきた集落の自然・文化、豊かな暮らしぶりを将来に渡って存続させ続けることを目指して活動。

- ・看板事業「あらば食堂」暮らしぶりを伝えるとは何かを問い続け島の人、来島者にも麻美らしさをと懐かしさを伝える取り組み
- ・島の家庭料理の伝統と継承活動を「荒波まーじんま」のグループで担う
- ・都市企業向け研修として地域課題を絡めた越境学習プログラムを提供・実施

【事例発表団体】山形県 上山市 ^{うしゅうかいどう}羽州街道「^{ならげしゆく}櫓下宿」研究会

概要：ふるさとで受け継がれてきた貴重な茅葺文化の適正な保存と、江戸時代の宿場の風情を今に伝える歴史的建造物の活用を図るため、櫓下宿では様々な活動が行われている。茅場の再生という手法を用いて交流人口と関係人口を拡大している

- ・11月には茅刈りイベントを実施・茅葺文化を地域で守り、正しく後世に伝える「かみのやま草屋根プロジェクト」
- ・地域コミュニティの絆を深め郷土愛を育む村づくり活動
- ・宿場の風情を醸し出す歴史的建造物の教育的活用等の各種取り組みを住民主導で実施。
- ・春と秋には櫓下の特産のそばでもてなす「そば祭り」を開催

【事例発表団体】徳島県 上勝町 団体名：特定非営利法人 郷の元気

概要：継続的な都市農村交流の中間支援として「棚田オーナー制」を創設し、都市部の人々と協働して環境・経済・コミュニティ・文化等を守り育て、「郷土」「故郷」を今までに増して元気な姿で、後世に伝承していくことに取り組んでいる。

- ・「郷の元気」は2005年に上勝町で設立した。「郷土」「故郷」を元気な姿で後世に伝承していく活動を行っている
- ・複数の活動組織の設立支援、集落組織とした棚田オーナー制の創設運営、地域棚田協議会と連携した棚田電動キックボード、棚田ライトアップイベントのほか、遊休農地を活用した棚田キャンプの創設、子ども食堂と連携した食育棚田交流活動などに取り組んでいる。

【シンポジウム参加の感想とまとめ】

過疎地域の持続的発展と風格の醸成を目指し、過疎地域に於いて課題の解決に取り組み、創意工夫が図られている優良事例表彰の方々に感銘した。

徳島県上勝町で全国棚田サミットが2010年に開催され、参加したが人口1500人余りの町民の情熱には感動した。当時は広大で険しい棚田の保全・景観を保持しながら「葉っぱビジネス」を展開し全国的にも注目されていた。「課題は山積み・あきらめない」の高い志の継続の取り組みがそこにはあった。

始良市の中山間で、課題もめぐみと見え、自然の中に資源を見出し、「稼ぐ」につなげる工夫を協働の活動で構築していくことが一歩となると考える。

5 所 見

○ 山梨県 全国過疎問題シンポジウム 2024in やまなし

10月24日(木) 甲府市(YCC 県民文化ホール) 全体会・交流会
10月25日(金) 山梨市 第1分科会

10月24日 基調講演 天野馨南子 「統計データが示す人口の未来の作り方」
～長男跡取り文化からの脱却がなぜ重要なのか～
(株式会社ニッセイ基礎研究所 生活研究部 人口動態シニアリサーチャー)

「女性にとって大学への進学が当たり前となった今、自らのキャリアを大切にしながら生きていきたいと考えている若い女性が非常に増えている。

しかし、大学を卒業したばかりの女性が自己実現できるような魅力ある労働市場が地方には少ない。結果、自らのスキルを生かせる選択肢が多く、多様な働き方もできる東京に、20代前半の女性が集まる傾向が続いている。

東京全体の「転入超過」は、女性によって去年も維持されたと言え、女性の転入 20～30代で70%超 “大学進学率が関係している。

女性が働きやすい職場、自己実現できる環境を地方にもっと整備して、社会の前向きな循環につなげていく取り組みが、人口移動の“地方への潮流”を本格化させるカギになってくる。

自治体の婚活サービスで一番問題になるのは加入者の年齢、登録者で多いのは35歳以上、ただ統計上、初婚同士に限ると、女性の9割、男性の8割が34歳以下で、35歳以上を集めても、少子化対策にはなりにくい。20代人口を惹きつける対策を最優先に掲げたエリアが勝ち残ることは自明である。

まさしく、人口動態に関する諸問題(少子化対策、東京一極集中、地方創生、ダイバーシティ〔D & I〕推進、未婚化対策等)を研究テーマした活動や人口関連アドバイザーを務める講師の時機を得た基調講演で大いに参考になった。

10月25日 過疎地域持続的発展優良事例発表会

秋田県大仙市 NPO法人南外さいかい市

買い物の場を求める多数の住民からの要望を受け、公設民営のミニスーパーマーケット「南外さいかい市」を始動

北海道厚沢部町 保育園留学推進協議会

保育園の一時預かり事業、移住体験住宅などの遊休施設、まちの暮らしを体験できる収穫体験などのプログラムを『保育園留学』としてパッケージ化

鹿児島県鹿屋市 高隈地区コミュニティ協議会

高齢者等の生活支援体制の仕組みづくり、地域資源等を生かした交流人口・関係人口の増加を目指すとともに、財源確保の取り組みにも挑戦

岡山県高梁市 平川村定住推進協議会

地域の特産品であるぶどうやトマトを栽培し、定住・就農を希望する方と地域のマッチングを図り、農地や住居等の紹介・斡旋などを行うことで産地を維持し、地域活性化を図るための取り組みを実施

発表された優良事例は、それぞれの地域の課題や現状を認識し、それらを克服する取り組み事例であった。

優良事例に共通するのは、中心になる指導者の存在であり、ちょっとした行政の支援であると感じた。

過疎地域では人口減少や少子高齢化など地域産業の衰退や集落消滅の危機など様々な課題に直面しているが、一方で過疎を過疎としない様々な取り組みは、豊かな自然や農地・森林などを共有

し、食料の生産や自然災害の防止などを通じて、地域内のみならず都市を含めた人々の生活や生産活動を支える公益的な役割も担っていることが再確認できた。

○ 東京都千代田区有楽町 ふるさと回帰支援センター

国内唯一「全国の移住相談ができる窓口」として設置されている「ふるさと回帰支援センター」には、各地域の相談員が常駐し、さまざまな移住相談（対面・電話・オンライン）に対応し、移住者を地方に送り出すことで、地方再生と地域活性化を目指している。

団体会員になると、ふるさと暮らしセミナーを開催したり、フェアへの出展、地域情報のイベントや体験ツアー等の情報掲載も可能になるとしている。

ふるさと回帰支援センターは面談やセミナーの参加、電話による問い合わせなど、年間相談件数が約5万の移住交流拠点になっている。

本市も団体会員になり、地域の魅力を広く知ってもらおうきっかけにしたい。

紙台付貼書收領

※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

2-051-08 3/3 2023.9 TE

899-5653
鹿児島県始良市池島町
31番地17

No. 00329884-04
DATE: 2024年10月03日
PAGE: 1

和田 里志 様

観光庁長官登録旅行業 第118号
南国交通株式会社
トラベルセンター 本社営業所
登録番号: T7340001003192
〒890-0053 鹿児島県鹿児島市
18番地1 南国

TEL:099-258-3121 FAX

請求書

毎度、南国交通をご利用いただき、誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求させていただきますのでよろしくお願いいたします。

ご請求内容				ご請求金額
2024年09月26日 (木) (B00001)				
☐ 予約No.	535737			
☐ 交通機関スケジュール				
1. 2024/10/24	JAL640	07:40 / 09:20	鹿児島 / 羽田	
2. 2024/10/26	JAL649	13:35 / 15:20	羽田 / 鹿児島	
☐ 宿泊スケジュール				
1. 2024/10/24-2024/10/25	ホテルクラウンヒルズ 甲府			
2. 2024/10/25-2024/10/26	ヴィアイン秋葉原			
☐ 参加者名				
ワダ サトシ 様	和田 里志 様			
モキノ コウイチ 様				
ユマト ヒデノブ 様				
ウチヨイロウ 様				
☐ 明細				
MR WADA SATOSHI	和田 里志 様			
ご旅行代金	(¥60,200 X 4)			¥240,800
	【税込金額合計】		【内消費税額合計】	
	¥240,800		¥21,890	
	消費税10%対象	¥240,800	(内消費税)	¥21,890

この請求書により請求書No.00329884-03はVOID(無効)とします。

お支払は下記口座へ

月 日 までにお振込みお願いいたします。

☐ 振込先: 鹿児島銀行 中央支店 普通
口座名: 南国交通株式会社

ご請求額 ¥240,800

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥240,800

担当者

様式 6

領収書貼付台紙

領 収 証

2024年10月24日

市政クラブ始輝 様

金15,560円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

新宿853 No.000013

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

2024年10月25日

市政クラブ始輝 様

金15,560円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

甲府803 No.000009

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

■ 領収証

No. 00608

入金先

市政クラブ始輝 様

¥ 400 -

但

4部屋分の宿泊税として

入金日 2024年 10 月 25 日

上記正に領収いたしました。

T6140001055008

株式会社ジェイアール西日本デیلیーサービスネット

JR WEST GROUP

VIA INN AKIHABARA

ヴィアイン秋葉原

〒101-0041 東京都千代田区神田築地町 2-19-4

Tel 03-5577-5489

https://www.viainn.com/akihabara/

内訳

現金 クレジット () ・振り込み

10%対象 円

(内、消費税額 円)

非課税(0%) 円

()

不課税(0%) 400 円

(宿泊税)

収入印紙

印 紙 税

領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。
※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

領収証

利用年月日2024年10月24日

取引内容

(税率: 10%)
乗車券発売

ご利用金額730円

・毎度ありがとうございます。

・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第1

号機番号 券A11

伝票番号 8123

登録番号 T4010401020947

東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日2024年10月24日

取引内容

(税率: 10%)
乗車券発売

ご利用金額730円

・毎度ありがとうございます。

・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第1

号機番号 券A11

伝票番号 8126

登録番号 T4010401020947

東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日2024年10月24日

取引内容

(税率: 10%)
乗車券発売

ご利用金額730円

・毎度ありがとうございます。

・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第1

号機番号 券A11

伝票番号 8125

登録番号 T4010401020947

東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日2024年10月24日

取引内容

(税率: 10%)
乗車券発売

ご利用金額730円

・毎度ありがとうございます。

・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第1

号機番号 券A11

伝票番号 8124

登録番号 T4010401020947

東京モノレール株式会社

領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。

※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

領収証		様
ご利用日付	2024年10月25日	
時刻	16時54分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金150円	
お支払方法	内訳	
現金	金150円	
税務署承認済	印紙税申告済	
伝票番号 89201		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
有楽町駅 券401発行		
登録番号 T8011001029597 JR東日本		

領収証		様
ご利用日付	2024年10月25日	
時刻	16時54分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金150円	
お支払方法	内訳	
現金	金150円	
税務署承認済	印紙税申告済	
伝票番号 89203		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
有楽町駅 券401発行		
登録番号 T8011001029597 JR東日本		

領収証		様
ご利用日付	2024年10月25日	
時刻	16時54分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金150円	
お支払方法	内訳	
現金	金150円	
税務署承認済	印紙税申告済	
伝票番号 89202		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
有楽町駅 券401発行		
登録番号 T8011001029597 JR東日本		

領収証		様
ご利用日付	2024年10月25日	
時刻	16時53分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金150円	
お支払方法	内訳	
現金	金150円	
税務署承認済	印紙税申告済	
伝票番号 89200		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
有楽町駅 券401発行		
登録番号 T8011001029597 JR東日本		

領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。

※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

領収証		様
ご利用日付	2024年10月26日	
時刻	10時05分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金1380円	
お支払方法	内訳	
現金	金1380円	
伝票番号 92936		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
秋葉原駅 券404発行		
登録番号 T9011001029597	JR東日本	

領収証		様
ご利用日付	2024年10月26日	
時刻	10時03分	
取引内容：乗車券類	(税率：10%)	
購入金額	金1380円	
お支払方法	内訳	
現金	金1380円	
伝票番号 92935		
- この領収証は大切に保存してください。 - ご利用ありがとうございます。		
秋葉原駅 券404発行		
登録番号 T9011001029597	JR東日本	